

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

18. 症状および徴候

文献

鈴木康之, 町田豊平, 小野寺昭一, ほか. 特発性血尿に対する柴苓湯の臨床効果. *泌尿器外科* 1994; 7: 325-7. 医中誌 Web ID: 1994241013

1. 目的

特発性血尿に対する柴苓湯の臨床効果を判定する。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

東京慈恵医大泌尿器科、第二内科他 2 施設

4. 参加者

血尿を主訴に外来受診し、特発性血尿と診断された 82 名の患者 (コントロール群 32 名、柴苓湯投与群 50 名)

5. 介入

Arm 1: ツムラ柴苓湯エキス顆粒 9.0g/日群、28 日間

Arm 2: コントロール群 (無治療群)

6. 主なアウトカム評価項目

尿沈渣の結果を 3+, 2+, 1+, ±, - の 5 段階評価

7. 主な結果

柴苓湯投与群はコントロール群に比して有意に改善効果が認められた ($P < 0.01$)。

8. 結論

血尿に対し、柴苓湯は止血効果が期待できる。

9. 漢方的考察

抗炎症作用物質として、小柴胡湯との関連性について述べられている。

10. 論文中の安全性評価

1 名において嘔気の訴えがあったが、その他の問題は認められなかった。

11. Abstractor のコメント

本論文は、特発性血尿の治療薬としての柴苓湯が有効である可能性を示している。治療の決め手がない中で意義が有ると考える。ただ、無症候性の血尿の治療意義を考えると、もう少し踏み込んで、腎炎の予防などの視点で研究の研究成果があるとなお意味深いものになると考える。今後の成果を期待したい。

12. Abstractor and date

中田英之 2009.1.10, 2010.6.1, 2013.12.31